

世界を「他人ごと」から「自分ごと」にする ナチスのユダヤ人迫害の時代にタイムスリップして考える



授業者：菅間正道 さん

自由の森学園中学校・高等学校 社会科教員

1967 年生まれ。1992 年より同校(在; 埼玉県)。教育科学研究会・近現代授業研究会など参加。生徒と対話し学びあう授業づくりを日々めざしている。中学3年の修学旅行で、「沖縄基地問題コース」を担当。事前学習に始まり、横田基地見学、沖縄で普天間基地・嘉手納基地等を共に回り、反戦地主や辺野古で現地の方々から話を聞くなどした。

過去の戦争の事実を学ぶ時、多くの方は「どうして、あのとき戦争に反対し、立ち上がらなかったの?」と問います。でも、実際は容易なことではありません。「ふつうの人がどのように戦争にかかわり、巻き込まれていったのか。」授業では、参加されたみなさんと、ナチス迫害の時代にタイムスリップして、共に学び合います。授業の間、ユダヤ人迫害は、他人ごとではなく、私たちにとっての自分ごとです。

11月13日(土)

午後2時50分～午後4時

産業プラザ PIO 1階AB会議室

京浜急行「京急蒲田」駅 東口改札 徒歩約4分

地図 <http://www.pio-ota.jp/plaza/map.html>

参加費 ; 分科会は無料

「東京・9条まつり」に参加するためには、成功協力券1000円が必要です。

(高校生以下は無料)

対象 ; 子どもから大人どなたでも
お申込は、不要です。会場に直接お越しください。

詳細は下記をご覧ください

「2007 沖縄修学旅行 基地問題コース」http://music.geocities.jp/jimori_kitimon/

「自由の森学園公式ホームページ」<http://www.jiyunomori.ac.jp/>

「東京9条まつり」<http://www.9jo-tokyo.jp/link2.html>



「知ること」「暗記すること」も大事ですが、それ以上に「問いを持つこと」「考えること」が大切で、それをめざしているのが、自由の森学園の授業です。